

今話題の世界の熱帯医学、渡航医学、感染症に関する  
ニュース&トピックスをピックアップして配信いたします。

## アメリカでのキャンピロバクター感染症の現状

---

キャンピロバクター腸炎はアメリカで最も頻度の高い食中毒の原因菌である。年間約 130 万人が罹患、約 13000 人が入院、119 人が死亡している。キャンピロバクター腸炎のアメリカ国内での罹患状況についてデータベースから分析した研究が発表された。年齢別では0-4歳の小児の罹患率が高かった。場所の特徴としては、西部で頻度が多く、また田舎での罹患率が高かった。特にハワイ州での罹患率が高かった。白人に比べて黒人の感染率は低く、特に小児においてヒスパニック系住民の罹患率が高かった。海外旅行で感染した場合抗菌薬の耐性が高い特徴を認めた(シプロフロキサシン 旅行者 60.2~67.5% 国内 13.0~17.0%)。エリスロマイシンに関しても旅行者の方が高い頻度で耐性を示したが、耐性率は7%未満であった。

Clin Infect Dis. 2017 Oct 30;65(10):1624-1631.

## 国内のデータを解析する際に、人種別での解析でかなり差がでていることが、生活、文化とのかかわりも考えられ、興味深いです。ヒスパニック系住民において小児の感染率が高いことが気になります。キャンピロバクターは家畜にキノロン系抗菌薬を使用すると耐性が増えることが分かっており、アメリカでは適正使用により良好な感受性を維持していることが印象的でした。国ごとで感染症の特徴や抗菌薬の感受性が分かると治療が楽になります。

## 梅毒：眼も要注意（梅毒性ぶどう膜炎）

---

アメリカニューカロライナ州において 2014 年~2015 年の期間、梅毒の眼症状を呈した症例をまとめた研究が発表された。梅毒患者 4232 例中 63 例（1.5%）が梅毒性の眼疾患と診断された。約半数が HIV に感染していた。診断されたケースのうち 24 例（38%）は 1-2 期の梅毒であった。

Clin Infect Dis. 2017 Oct 30;65(10):1676-1682.

## 梅毒の眼症状はぶどう膜炎が多く、約 10%は失明するとの報告があります。梅毒に対する抗菌薬の治療とともに、ステロイド点眼を行うようです。日本でも梅毒は増加しつつあるという報告もあり、眼症状に対しても気を付けてみていきたいです。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m/syphilis-iasrd/4497-pr4095.html>



---

【発行元】 特定非営利活動法人グローバルメディカルサポート （月 2 回）

□MAIL. [info@npo-gms.org](mailto:info@npo-gms.org)

□URL. <http://npo-gms.org/index.html>

□FB. <https://www.facebook.com/NPOGMS/>

